

# 地域景況レポート

2026年「令和7年度第4期(1月～3月期)」

## とっかけ

“いわきの歴史を感じる、  
新スポット”



開園した「磐城平城しろあと公園」。園内には、体験学習施設などがあり、いわきの歴史を学ぶことができる

### 磐城平城しろあと公園

令和8年4月11日、いわき市が整備を進めていた「磐城平城しろあと公園」が開園しました。

いわき駅北側の磐城平城本丸跡には、公募で愛称が「緑天庵(ろくてんあん)」に決まった体験学習施設があり、CG動画やジオラマで磐城平城の歴史を紹介しています。その他、四季を楽しめる芝生広場、JRいわき駅の北東側の市街地を望める展望デッキ付き「憩いの広場」などもあります。

また、敷地内には、明治時代に藩政が行われていた旧仮藩庁や、白蛇の言い伝えが残る白蛇堀(はくじゃぼり)など、歴史的資源も点在しており、磐城平城本丸跡は、令和4年5月2日に史跡に指定されました。

地元いわきの歴史を感じることができる“最新スポット”です。

## 目次

表紙 “いわきの歴史を感じる、新スポット”

1～5 中小企業景気動向調査の集計結果  
特別調査「中小企業経営者のライフデザイン」

6 企業紹介「(株)エイブル」

7 市内の観光歴史めぐり：磐城大國魂神社のお潮採り神事／向日葵



街の応援団・町のパートナー

ひまわり信用金庫



# 中小企業景気動向調査の集計結果

[調査対象企業数 400社]  
 [回答企業数 392社]  
 [回収率 98.0%]

景気動向調査回答企業

(先)

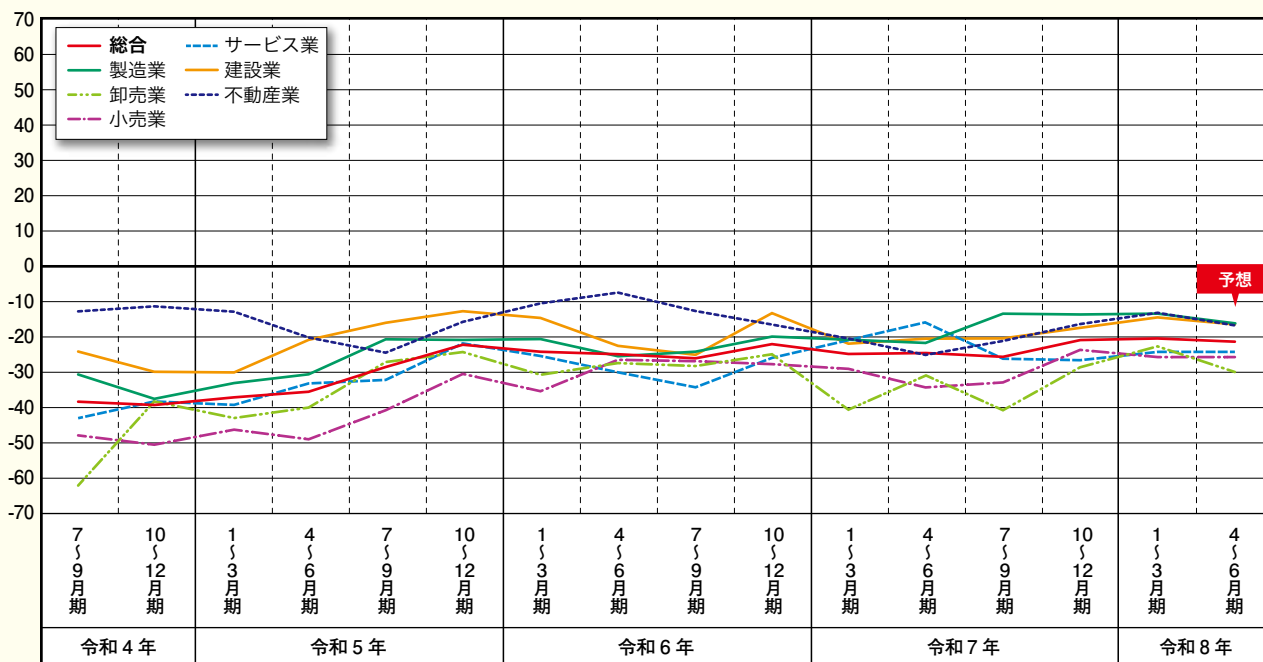
	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域)	27	14	48	31	25	10	155
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	29	13	37	25	27	9	140
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	19	4	32	21	16	5	97
<b>合計</b>	<b>75</b>	<b>31</b>	<b>117</b>	<b>77</b>	<b>68</b>	<b>24</b>	<b>392</b>

## 概況

いわき市全域の業況は、わずかに改善するも、先行きについては再びわずかに悪化する見込み

令和8年1月～3月期の自企業の業況DIを前回調査（令和7年10月～12月期）と比較すると、いわき市全域では「悪化」超20.2%と悪化超幅が1.1ポイント縮小した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を23.6%とみていたので、予想よりも悪化超幅が3.4ポイント縮小した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超15.5%と悪化超幅が2.0ポイント縮小した。小名浜・常磐方部は「悪化」超23.6%と悪化超幅が2.2ポイント拡大した。勿来方部は「悪化」超22.7%と悪化超幅が4.4ポイント縮小した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、いわき市全域で「悪化」超21.7%と悪化超幅が1.5ポイント拡大することが見込まれている。



自企業の業況

※ DI (Diffusion Index) 値とは

景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値で、「とっかけ」の指標はDI値を使用しています。

## 業種別・地域別業況

小売業を除くすべての業種が改善した。先行きは、製造業、卸売業、建設業、不動産業が悪化する見込み

前回調査（令和7年10月～12月期）と今回調査（令和8年1月～3月期）を業種別に比較すると、小売業は「悪化」超25.6%と悪化超幅が1.9ポイント拡大した一方、製造業は「悪化」超13.3%と悪化超幅が0.2ポイント縮小、卸売業は「悪化」超22.6%と悪化超幅が5.5ポイント縮小、サービス業は「悪化」超24.7%と悪化超幅が2.2ポイント縮小、建設業は「悪化」超14.7%と悪化超幅が2.9ポイント縮小、不動産業は「悪化」超12.5%と悪化超幅が4.2ポイント縮小した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、小売業、サービス業は横ばいであるが、製造業、卸売業、建設業、不動産業で悪化超幅が拡大することから、業種全体では「悪化」超21.7%と悪化超幅の拡大が見込まれている。

### 業種別の業況

( ) は前回調査時の今期予想 [単位: %]

業種別	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期(予想)
総合	▲21.3	▲20.2(▲23.6)	▲21.7
製造業	▲13.5	▲13.3(▲20.3)	▲16.0
卸売業	▲28.1	▲22.6(▲28.1)	▲30.0
小売業	▲23.7	▲25.6(▲24.6)	▲25.6
サービス業	▲26.9	▲24.7(▲32.1)	▲24.7
建設業	▲17.6	▲14.7(▲17.6)	▲16.2
不動産業	▲16.7	▲12.5(▲12.5)	▲16.7

### 地域別の業況 [方部別の推移]

[単位: %]

方部別	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期	令和8年4月～6月期(予想)
いわき市全域	▲21.3	▲20.2	▲21.7
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央支店の地域)	▲17.5	▲15.5	▲20.8
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	▲21.4	▲23.6	▲22.9
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	▲27.1	▲22.7	▲21.6

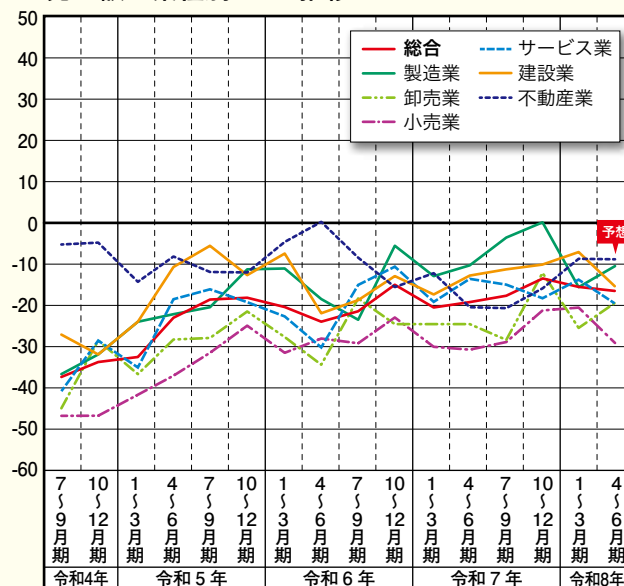
※▲は「悪化」超

### ▶ 売上額

売上額は、前回調査（令和7年10月～12月期）の「減少」超13.8%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、「減少」超15.8%と減少超幅が2.0ポイント拡大した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、「減少」超17.6%と売上額の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

売上額の業種別 DI の推移



### ▶ 受注残

製造業における受注残は、前回調査（令和7年10月～12月期）の「減少」超6.8%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、「減少」超18.7%と減少超幅が11.9ポイント拡大した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、「減少」超9.3%と受注残の減少を見込まれている企業が大きく減少している。

建設業における受注残は、前回調査（令和7年10月～12月期）の「減少」超5.9%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、「減少」超2.9%と減少超幅が3.0ポイント縮小した。先行き（令和8年4月～6月期）は、「減少」超5.9%と、受注残の減少を見込まれている企業がやや増加している。

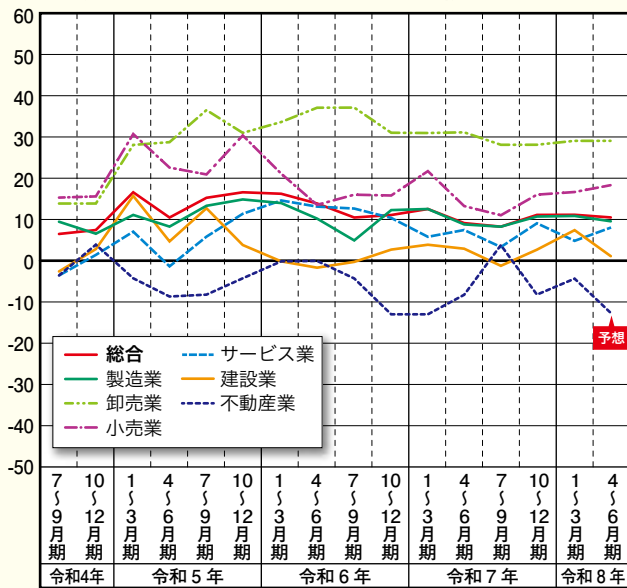
### ▶ 施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和7年10月～12月期）の「減少」超8.8%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、0.0%と令和元年10月～12月期以来25期ぶりに「減少」超が解消した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、「増加」超2.9%と施工高の増加を見込まれている企業がわずかに増加している。

## ▶▶ 販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移



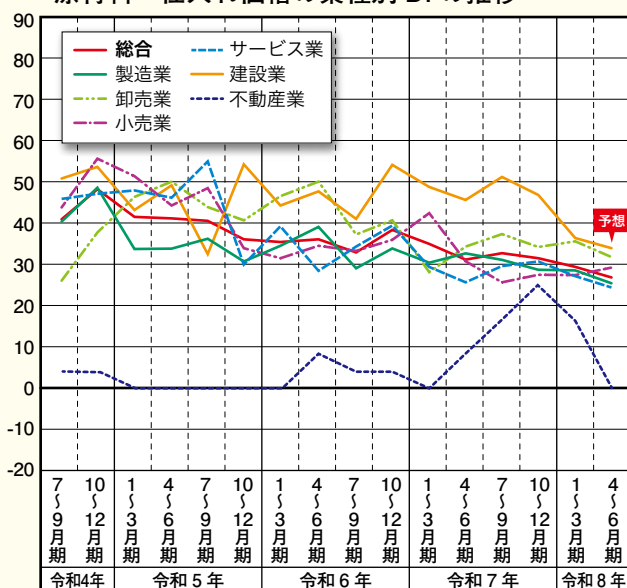
販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和7年10月～12月期）の「上昇」超11.0%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、「上昇」超11.5%と上昇超幅が0.5ポイント拡大した。

業種別では、製造業、サービス業は上昇超幅が縮小した一方、卸売業、小売業、建設業は上昇超幅が拡大、不動産業は下降超幅が縮小した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、製造業、建設業は上昇超幅が縮小、不動産業は下降超幅が拡大することから、業種全体では「上昇」超10.5%と販売・請負価格の上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

## ▶▶ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和7年10月～12月期）の「上昇」超32.1%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、「上昇」超29.1%と上昇超幅が3.0ポイント縮小した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、業種全体で「上昇」超26.8%と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

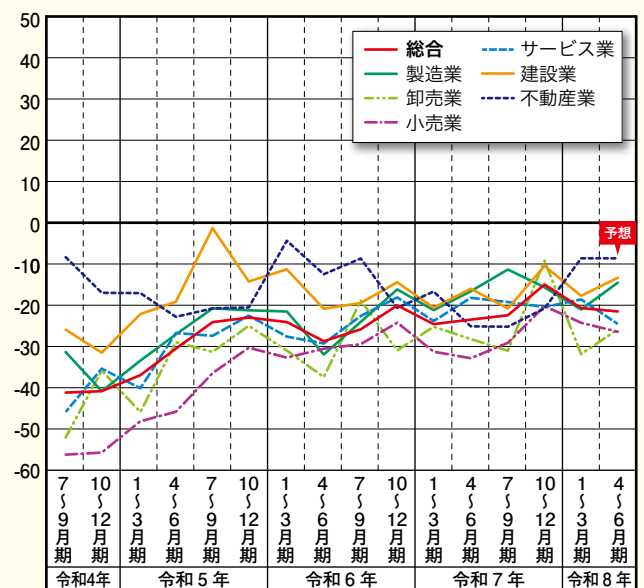
## ▶▶ 収益

収益は、業種全体で前回調査（令和7年10月～12月期）の「減少」超14.9%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、「減少」超20.9%と減少超幅が6.0ポイント拡大した。

業種別に前回調査（令和7年10月～12月期）と今回調査（令和8年1月～3月期）を比較すると、サービス業、不動産業は減少超幅が縮小した一方、製造業、卸売業、小売業、建設業は減少超幅が拡大した。

先行き（令和8年1月～3月期）は、業種全体で「減少」超21.9%と、収益の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

収益の業種別 DI の推移



## ▶▶ 在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和7年10月～12月期）の「不足」超2.9%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、「不足」超2.5%と不足超幅が0.4ポイント縮小した。

先行き（令和8年4月～6月期）は、小売業は「不足」超に転じ、製造業は過剰超幅が縮小、その他すべての業種で不足超幅が縮小することから、業種全体では「不足」超2.9%と在庫の減少を見込まれている企業はほぼ横ばいとなっている。

## ▶ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超19.4%となった。

先行き（令和8年4月～6月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超19.6%となり、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

## ▶ 金融機関借り入れ状況

金融機関からの借り入れ状況は、全体の90.3%の企業が「借り入れしない」とした。

今後の借り入れ予定についても、すべての業種で「借り入れの予定なし」とした企業が「借り入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の94.6%の企

業が「借り入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借り入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和7年10月～12月期）の87.9%に対し、今回調査（令和8年1月～3月期）では、89.8%となり、借り入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

## ▶ 設備の状況

設備の状況は、9割の企業（令和8年1月～3月期91.6%、令和8年4月～6月期予想91.0%）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和8年1月～3月期）でも、すべての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超6.8%と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

## 設備投資の実施・予定

上段：先数  
下段：比率（%）

業種	令和8年1月～3月期							令和8年4月～6月期						
	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車 両	その 他	実施しない	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車 両	その 他	実施しない
総 合	3 0.7	16 3.9	4 1.0	5 1.2	8 2.0	2 0.5	368 90.6	2 0.5	5 1.3	4 1.0	2 0.5	8 2.0	1 0.3	375 94.5
製 造 業	1 1.2	8 9.5	3 3.6	1 1.2	4 4.8	0 0.0	67 79.8	1 1.2	2 2.5	1 1.2	0 0.0	3 3.7	0 0.0	74 91.4
卸 売 業	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 97.1	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 97.1
小 売 業	2 1.6	—	—	1 0.8	0 0.0	2 1.6	122 96.1	1 0.8	—	—	2 1.6	1 0.8	1 0.8	121 96.0
サ ー ビ ス 業	0 0.0	1 1.2	0 0.0	1 1.2	2 2.4	0 0.0	81 95.3	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	2 2.4	0 0.0	82 96.5
建 設 業	0 0.0	6 8.0	1 1.3	2 2.7	2 2.7	0 0.0	64 85.3	0 0.0	2 2.9	2 2.9	0 0.0	2 2.9	0 0.0	64 91.4

## 経営上の問題点

（複数回答）

項 目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	160	29	14	57	39	15	6
人手不足	69	8	9	24	21	7	0
同業者間の競争の激化	63	17	2	10	10	17	7
工場(店舗)・設備(機械)の狭小・老朽化	59	22	5	32	0	—	—
大手企業(大型店)との競争の激化	54	13	—	17	3	19	2
利幅の縮小	45	1	0	2	1	36	5
人件費以外の経費の増加	33	8	0	16	5	4	0
代金回収の悪化	29	2	8	8	0	5	6
取扱商品の陳腐化	27	—	0	4	23	—	—
合理化の不足	27	16	2	—	0	9	—
人件費の増加	27	1	9	10	0	1	6
販売商品(商品物件)の不足	25	—	0	21	—	—	4
その他	153	27	14	36	44	30	2
問題なし	19	3	3	1	10	1	1
合 計	790	147	66	238	156	144	39

## 当面の重点経営施策(経営のポイント)

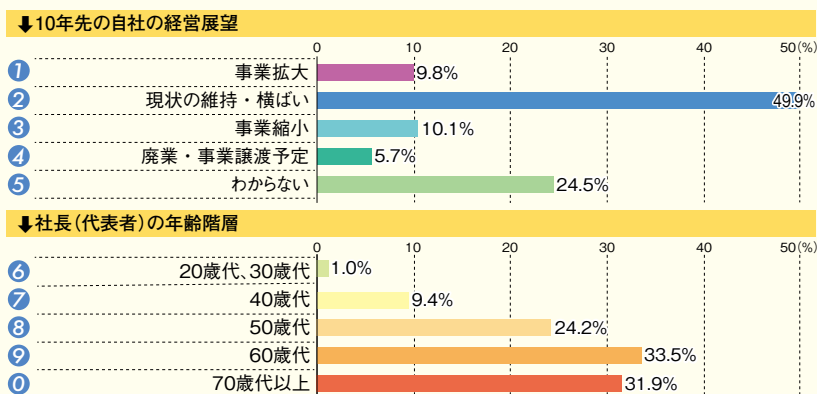
（複数回答）

項 目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	211	41	16	64	46	38	6
販路を広げる	81	25	13	—	20	15	8
宣伝・広告を強化する	64	—	—	30	26	—	8
人材を確保する	48	14	2	8	5	18	1
情報力を強化する	42	14	5	—	—	14	9
品揃えを改善(充実)する	39	—	11	28	—	—	—
提携先を見つける	28	10	6	—	10	—	2
技術力を強化する(高める)	27	—	—	—	6	21	—
売れ筋商品を取り扱う	19	—	—	19	—	—	—
商店街事業を活性化させる	14	—	—	14	—	—	—
新しい事業を始める	10	—	0	5	4	1	0
労働条件を改善する	10	4	0	—	2	4	0
その他	47	18	3	14	6	4	2
特になし	71	9	4	25	15	14	4
合 計	711	135	60	207	140	129	40

## 特別調査「中小企業経営者のライフデザイン」

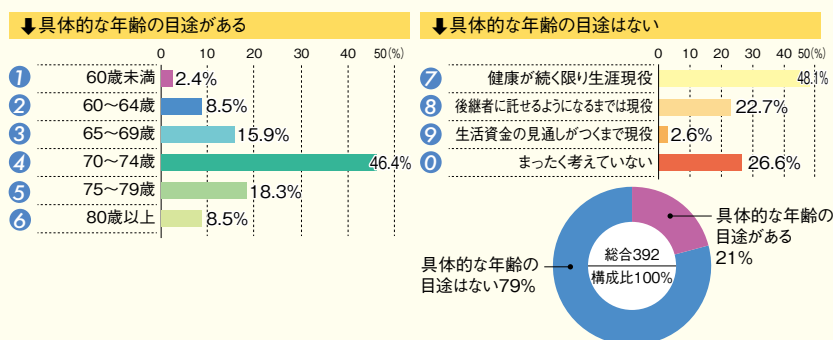
### 問1

社長（代表者）は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。1～5の中からお答えください。併せて、現在の社長（代表者）の年齢階層を下記の6～0の中から1つ選んでお答えください。



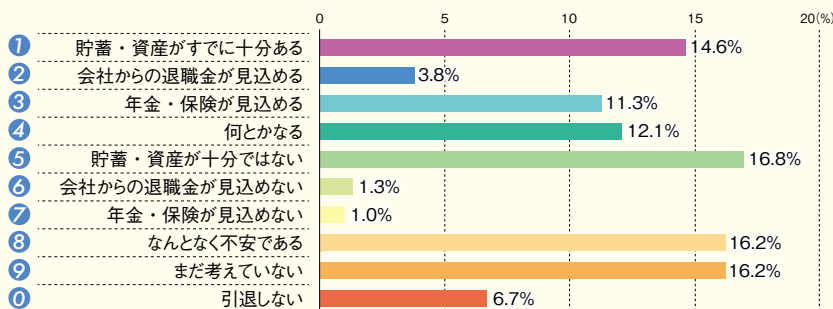
### 問2

社長（代表者）は、経営者としていつ頃までに現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方は1～6の中から、そうでない方は7～0の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



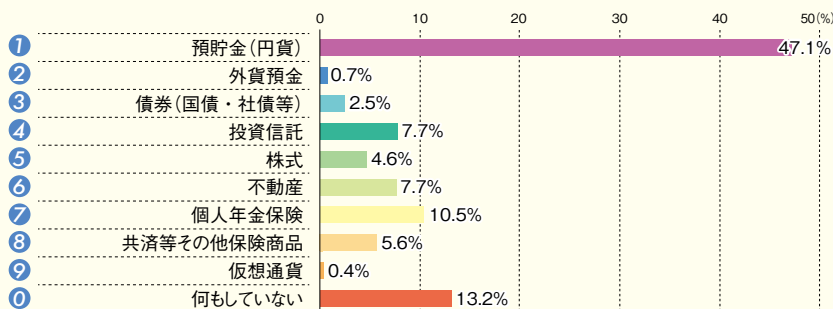
### 問3

社長（代表者）は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



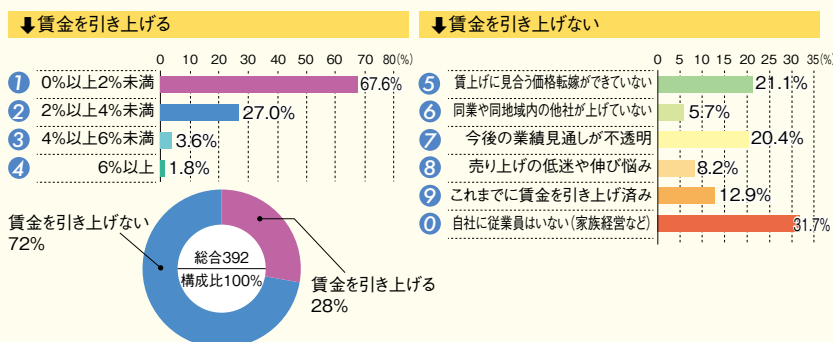
### 問4

社長（代表者）は、個人としてどのような資産管理・運用をいらっしゃいますか。1～0の中から主なものについて3つ以内で選んでお答えください。



### 問5

貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引き上げを実施（実施予定を含む）しますか。引き上げる場合はその賃金引き上げ率について1～4の中から1つ選んでお答えください。また、引き上げない場合はその理由について5～0の中から1つ選んでお答えください。



# 企業紹介

public relations

## (株)エイブル



社長 猪狩 信長

住所：〒979-0201 いわき市四倉町東2丁目116-1 (本店)

電話番号：0246-68-7271

営業時間：産直やよつくら亭 (常磐道上り線・四倉PA)

午前7時～午後8時

海岸食堂 (常磐道下り線・同) 午前6時30分～

午後7時30分

※魚介類メニューの提供は午前10時から

休日：年中無休



弊社は平成6(1994)年、製造業の会社として創業しました。食堂に代わり併設したコンビニの経営を機に、市内でコンビニや飲食店の事業を展開。ノウハウを生かし、同14年、常磐道上り線・四倉PAに飲食店と小売店を兼ねた「産直やよつくら亭」をオープンしました。時代とともにPA事業に注力し、同29年には下り線・四倉PAに同様の施設「海岸食堂」を開設しました。

常磐道では、唯一NEXCO東日本に生魚の扱いを認められ、飲食店では弊社が目利きした「常磐もの」を提供。例えば「刺し身定食」は、海鮮好きのガテン系ドライバーから1番の支持を集めています。PAにはウォークインゲートも備えられ、地元の方々にもご愛顧いただいております。

今後も地場産業ならではの特色を前面に出し、「海が感じられる空間」「リフレッシュできる場所」づくりに尽力して参ります。



### 【編集室から】

高速道路の商業施設で提供される海産物と言えば、通常は冷凍ものです。しかし同社が扱うのは、地元で買い付けた新鮮な「常磐もの」の数々。刺し身定食や煮魚定食などとしてメニューに並びます。

質の高さと立地から「隠れた名店」と称されており、長蛇の列ができることも多々あります。また、NEXCO東日本が令和8年に開催した「第2回ハイウェイめし甲子園」では「海鮮ミックスフライ定食」が県内初の準優勝に輝きました。これらは、同社が一貫して「新鮮な魚介類を販売する」という強い信念を持って営んでいるからにはほかなりません。

PAの飲食店としては珍しく「小上がり」も設置。各施設が独自色を出すことは現在では一般的ですが、同社はオープン当初からの方針で、先見の明がありました。

午前10時から魚介類メニューの提供を行うため、関連企業の就労支援事業所「NPO法人わいわい作業所」に前捌きを委託するなど、自社努力に加え、障がいを持った人たちの自立支援にも取り組んでいます。

# 市内の 観光歴史めぐり



(所在地：いわき市平菅波字宮前 54)

## 磐城大國魂神社の お潮採り神事

(いわきおおくにたまじんじやおしおとりしんじ)

いわき市には、多くの観光歴史名所、文化財があります。

「市内の観光歴史めぐり」として、磐城大國魂神社のお潮採り神事を紹介します。

大國魂神社は、延喜式内磐城七社の一つで、神名帳ではその筆頭にあげられており、市内最古の神社です。

毎年5月3、4日は例大祭で、「お潮採り神事」は4日の「本祭り」で行われます。神職が早朝にご神体を本殿から神輿(しんよ)に移し、その神輿は氏子である平菅波・山崎・荒田目の三大字の青年によって担がれ、平上大越、藤間、薄磯などの御旅所を経て、平豊間の浜を目指します。豊間に到着すると、神輿は豊間の人々の手によって浜へ下ろされ、祭場に海に面して安置されます。祭式、直会のあとに、豊間の人々が神輿を担いで海に入っていく、屋根を残すくらいにまで、神輿を海水に浸します。ここまで深く神輿を海水に沈めるのは珍しく、一連の神事が済むと、神輿は再び三大字の青年によって担がれ、本殿を目指します。

浜へ下りる途中の御旅所での習俗など、祭りに関わるさまざまな古い習俗がよく残されている貴重な祭りで、平成20年4月4日に県指定重要無形民俗文化財に指定されています。



▲祭式、直会のあとに神輿を担いで海水に浸す「お潮採り神事」=写真提供・いわき観光まちづくりビューロー



### column 向日葵

日本銀行福島支店が3月に公表した2026年3月分の福島県

金融経済概況は、県内景気は、足踏みしている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、下げ止まりつつある。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、下げ止まりつつあると公表されております。

当金庫の令和8年1月～3月期の景気動向調査では、いわき市全域の業況は「悪化」超20.2%と前回調査(令和7年10月～12月期)と比較すると、わずかに改善しましたが、先行きは再び悪化することが見込まれています。また、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きについても、すべての業種で「苦しい」超となっています。

当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただきたくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んで参ります。

発行/ひまわり信用金庫

〒970-8026 いわき市平字二町目10

編集/総務部 総務グループ TEL.0246-23-8500

☑ <https://www.shinkin.co.jp/himawari/>

▶『とっかけ』とは 「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。